

第157回 環境サロン

「住宅・建築物ストックエネルギー需要のモデリングと脱炭素化への応用」

2021年に閣議決定された地球温暖化対策計画では、2030年度における民生家庭部門・業務部門における二酸化炭素排出量削減目標をそれぞれ66%、51%としている。この削減目標は電力の二酸化炭素排出係数の削減による効果を含むものであるが、大幅な削減が実現可能か、実現不可能ならばどのような追加的対策が有効か、さらには、長期的にエネルギー需要はどのように変化し、電力をはじめとするエネルギー供給側にどのような影響を与えるのか、など、多くの問いを位置づける必要がある。これらの問いに対応するため、国・地域のスケールでエネルギー需要を定量化する方法が開発され、各種対策の評価に応用されている。講演では、住宅建築物ストックやひとの行動のモデリングなど、重要な方法論的発展を概観し、課題を共有する。

- > Yamaguchi Y *et al.* Feasibility assessment of net zero-energy transformation of building stock using integrated synthetic population, building stock, and power distribution network framework. *Applied Energy* 2023:333:120568. <https://doi.org/10.1016/J.APENERGY.2022.120568>.
- > Yamaguchi Y *et al.* Building stock energy modeling considering building system composition and long-term change for climate change mitigation of commercial building stocks. *Appl Energy* 2022:306:117907. <https://doi.org/10.1016/J.APENERGY.2021.117907>.

開催日時

日時：2024年4月23日（火）17時30分～19時00分

講師

山口 容平

（大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 准教授）



司会進行 松井孝典（行事委員・大阪大学）

開催方式 オンライン（定数50名）

参加費 無料（定員を超える参加希望者がある場合は、本センター会員を優先させていただきます）

【講師プロフィール】

山口 容平（やまぐち ようへい）：大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 准教授

2001年大阪大学工学部環境工学科卒業、2006年大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了、博士（工学）。2006年より特任助手を経て2008年より大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻助教を務め、2015年より同専攻准教授。建築設備、エネルギーシステム分析、エネルギー需要モデリングを専門とし、近年は民生部門（家庭・業務）を対象とする気候変動緩和策の研究を実施している。

参加申込み方法：以下フォームよりお申込みください（申し込み締切：2024年4月21日）

<https://ws.formzu.net/dist/S929841173/>（外部サイトへ移動します）

※お申込みいただいた方にオンライン会議情報を開催の前日までにメールにてご案内します

<問い合わせ先>

（一社）環境情報科学センター 環境サロン係 E-mail: memberadmin@ceis.or.jp / Tel. 03-3265-3916